



港南小学校 学校だより

2月号

二十四節季・七十二候

<2月の二十四節季>

- ・2月4日 立春
春の気始めて立つ
- ・2月19日 雨水
氷雪解け雨水温む

<2月の七十二候>

- ・東風解凍
はるかぜおこりをとく
→東風が厚い氷を解かし始める
- ・黄鶯睨睨
うぐいすなく
→鶯が山里で鳴き始める
- ・魚上氷
うおこりをのぼる
→割れた氷の間から魚が飛び出る
- ・土脉潤起
つちのしょううるおいおこる
→雨が降って土が湿り気を含む
- ・霞始韃
かすみはじめてたなびく
→霞がたなびき始める
- ・草木萌動
そうもくめばえいずる
→草木が芽吹き始める

全ての経験が後に生きる

校長 船木 亮作

暦の上では二月四日に立春を迎えますが、寒さがなお厳しい毎日です。

「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われますが、一月は二十八日しかなく（登校日は二十日）時はどんどん過ぎてしまいきます。ですから、今月は特に「時を大切にすること」を心がけ日々過ごしたいものです。

さて、一月は多くのスポーツ選手が引退しました。サッカーをしていた私にとつては、横浜マリノスの中澤祐二選手の引退には驚きました。四十歳にして全ての試合にフル出場するなどサッカー界の「鉄人」と言われた選手です。さらに、一月十日には、女子レスリングで三度の金メダルを受賞し、国民栄誉賞にも選ばれた吉田沙保里選手、さらに一月十六日には、大相撲横綱稀勢の里関の引退にも驚かせられました。この三人のエピソードの中で共通していたことは「挫折や負けから得たものが大きい」ということです。中澤選手は高校時代全くの無名選手であり、どこからも声がかからなかったため、ブラジルにサッカー留学し、帰国後「練習生」として無給の状態からスタートしました。しかし、常に「絶対にJリーガーになる」という強い意志を貫くと共に、体に良いと言われたことは何でも行い、見事日本代表にはなくてはならない存在になりました。また、吉田選手は「一番印象に残るメダルは」と聞かれ「やはりリオ五輪。負けて得るもの、負けて知るものが大きかった。リオ五輪の銀メダルが自分を一番成長させてくれた」と述べています。さら

に、稀勢の里関の引退会見で、「一番印象に残っている取組は何か」と聞かれ、「大関に昇進した時の千秋楽で負けた時、次に昇進する時は絶対に負けないという気持ちで稽古をしました」と語っていました。どの選手も「挫折」や「負け」から学んだことから自分を奮い立たせ成長できたと言っています。

子供たちもこれからの人生、順風満帆と言える子は少数だろうと思います。ほとんどの子供たちは、壁にぶち当たったり、上手くいかなくて悩んだり苦しい思いをしたりすることでしょう。しかし、その経験こそが将来の人生の土台となっていく、その後を「生き抜く力」となっていくのではないのでしょうか。

「可愛い子には旅をさせよ」という言葉もあるように、小学校時代にたくさんさんの悔しい思いや苦しい経験を経験することから学ぶことも多く、それがその後の人生にとって大きな財産となっていくます。教育評論家の尾木直樹さんも何か失敗したとしても母親は「大丈夫、大丈夫」「あなたは大き器晩成だから」といつて丸ごと受け入れてくれたそうです。「人生は、一度きりの勝ち負けでは決まらぬ。長い目で判断しなさい」と言われ、心が軽くなったそうです。挫折や失敗を積み重ねたことで、反対にしなやかに物事を考えられるようになり、うまくいかないことがあっても大きく構えるようになつたそうです。

ぜひ、お子さんが同じような思いをしていたら、それをプラスにできるような働き掛けをしてあげてください。

今月の生活目標

「安全に気を付けて生活しましょう」

国土交通省によれば、交通事故死亡者全体に占める歩行中・自転車乗車中の割合は約半数を占め、その約半数は自宅から五百メートル以内の身近な道路で亡くなっています。

港南小学校では、二月のセーフティタイムで自転車の乗り方について確認し、交通安全への気運を高め、自分の命を自分で守ろうとする態度を育みたいと考えています。

また、警察庁によれば、自転車による死傷事故の加害者の約四割が十代です。小学生は被害者のみならず、加害者になりうるということを改めて考えていかなければなりません。

お子さんの自転車の利用状況について今一度ご確認いただき、安全についての理解を深められますようお声掛けをお願いします。

（生活指導主幹

小清水 孝）



東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

3月の主な行事予定

- 1日 (金) 感謝の会 (6年) 14:00
【6年以外は13:15下校】
- 4日 (月) セーフティタイム、委員会活動
- 5日 (火) 保護者会 (1・2年)
- 7日 (木) 社会科見学 (5年)
- 8日 (金) 保護者会 (3・4・5年)
- 9日 (土) 土曜授業日
- 11日 (月) クラブ活動
- 19日 (火) 卒業式予行 (5・6年)
【1～4年は13:25下校】
- 20日 (水) 給食終
- 21日 (木) 春分の日
- 22日 (金) 卒業式
- 25日 (月) 修了式、土曜時程、大掃除2校時
- 26日 (火) 春季休業日始

2月の行事予定

| | | |
|-----|---|--|
| 1日 | 金 | ふれあい月間始、ユニセフ週間終 |
| 2日 | 土 | |
| 3日 | 日 | |
| 4日 | 月 | 全校朝会、セーフティタイム 委員会活動 |
| 5日 | 火 | 校外学習 (わかば) |
| 6日 | 水 | 基礎なし・下校時刻変更【13:10下校】 |
| 7日 | 木 | 体育朝会・児童集会 |
| 8日 | 金 | 基礎なし・下校時刻変更【13:10下校】 |
| 9日 | 土 | |
| 10日 | 日 | |
| 11日 | 月 | 建国記念の日 |
| 12日 | 火 | 全校朝会、げんきアップタイム |
| 13日 | 水 | 学校保健委員会 (6年)【6年14:35下校】 |
| 14日 | 木 | 音楽朝会、研究会 (2-3、3-5、5-4) 【上記学級は5時間授業 14:30下校】 基礎なし・下校時刻変更【上記学級以外13:10下校】 |
| 15日 | 金 | ふれあいコンサート (1年) |
| 16日 | 土 | ふれあいクリーン作戦 おしるこ会 |
| 17日 | 日 | |
| 18日 | 月 | 全校朝会、クラブ活動 |
| 19日 | 火 | 新一年生保護者会【1年12:50下校】 キッズスポーツアカデミー、げんきアップタイム |
| 20日 | 水 | |
| 21日 | 木 | 保護者会 (6年) 15:00 |
| 22日 | 金 | エンジョイミュージック (4年) ふれあいコンサート (1年) |
| 23日 | 土 | 土曜授業日 卒業・進級を祝う会 (わかば) 10:15 |
| 24日 | 日 | |
| 25日 | 月 | 全校朝会、地域ふれあい給食 (5年) |
| 26日 | 火 | 6年生を送る会3校時、兄弟班お別れ給食 |
| 27日 | 水 | 基礎なし・下校時刻変更【13:10下校】 |
| 28日 | 木 | 体育朝会・児童集会 |

副校長より

今年は大寒波に始まり、まだまだ寒さが厳しくなる予報も報じられています。そして、寒さと同時にインフルエンザへの警戒も多々耳にします。学校でも、うがい、手洗いの励行や全校朝会でのやり方や給食時の過ごし方等、感染拡大防止への考慮をしているところでもあります。ご家庭でも衛生面はもちろんのこと食事、睡眠を十分にとり体調への配慮をお願いいたします。

さて、二月には節分があり、豆をまく風習があります。節分は季節の変わり目には邪気が生じる

と考えられています。そこで穀物には生命力と魔除けの力があるという考えと「まめ」を「魔目」とし、鬼の目に投げつけて撃滅する「魔滅」という語呂合わせから豆をまく風習が生まれたそうです。邪気を払い一年の無病息災を願う意味合いがあります。

今、学校でも一年間の集大成の意味を込め、進級、進学を意識して生活させています。来年一年間を自信をもって過ごせるよう指導していきます。

(副校長) 吉岡 慎
原島 謙一

この他に、避難訓練 (予告なし) があります。

表彰

読書感想文全国コンクール 港区代表

鈴木 紗菜 (6年)「生きる力」

平成30年度 小・中学生の環境に関する自主研究
小学生個人の部

優秀賞 廣瀬 美旺 (6年)

| | わかば | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 児童数 (人) | 24 | 221 | 231 | 212 | 196 | 190 | 191 | 1265 |

四年生より

国語

「野原に集まれ」

野原にいそうな動物や生き物を思い浮かべ、その生き物になりきって詩を書きました。野原にいそうな生き物としては、イノシシや、鹿、ウサギ、キツネなどを想像して書きました。野原以外にいるものとしては、くじらや太陽、星などがあがり、一人一人個性の溢れる詩に仕上がりました。友達の詩を読み合うことで、より想像が広がり、自分の詩をもっと良くしたいという思いをもつ児童が多くいました。

これからも想像力を働かせて自分の考えを書けるようにしていきます。

国際

「一日の生活を振り返って」

発音しよう」



朝起きてから夜までの一日の中で行うことを、発音しています。ゲームを行いながら繰り返し発音することで、すらすらと滑らかに話すことができるようになってきています。三学期は、一年間行ってきた英文や単語を復習しますので、今後に生かせるよう学習に取り組んでいきます。

(三組担任 茂垣 夢佳)

理科

「水のすがた」

二学期に「ものの温まり方と体積」の学習で水を熱したときの体積の変化について学習しました。その際、「鍋で水を沸かすと沸騰する。水を冷凍庫に入れると氷になる。もつと水を熱したり冷やしたりするとどのように変化するか調べてみたい」と疑問をもちました。

このことをふまえ、三学期は「水を冷やすと氷になる」ということは生活経験から分かっているものの、何度で凍るのか、どのように氷になるのかについては分からないことが多く、実験をして調べました。氷になる様子をじっくり観察することになった児童は、大きな歓声をあげて凍っていく様子に興味津々でした。実験結果から、予想とは違い零度で凍りはじめ、そのまま零度で氷に姿が変わることが分かりました。普段当たり前のよう感じている現象を改めて考えてみると、驚きと不思議が詰まっていることが分かり、さらさらした目で理科の学習が終わりました。

これからも、身近な科学的な事象に興味をもち、思考することを大切に学習をすすめていきます。

(二組担任 並木 恵美子)

わかば学級より

わかば学級は、四月に四名の一年生が入学し、一名の転入生が仲間入りして二十四名となりました。本学級では、学年や発達段階など、一人一人の目標に応じた、様々な学習活動を行っています。

「国語」「算数」

グループに分かれて、個人の目標に合わせた学習を行います。基礎的な学力を身に付けられるように少人数での指導をしています。

「音楽」「図工」「体育」

音楽と体育は全員で、図工は低学年と高学年に分かれて学習することで、豊かな心、健康的な身体を育むとともに、集団で表現する楽しさや喜びを味わえるように活動を行っています。

「生活単元学習」

基礎的・基本的な知識や技能だけでなく、将来社会に参画して豊かな生活を送るための力が身に付けられるように指導を行っています。特に、この教科は、実際の生活から発展した内容を児童の興味・関心に応じて取り上げることや、友達や教師と共同して取り組むことができる学習です。わかば学級では、「おひさま農場」「調理」「茶道」などを行っています。

「おひさま農場」では、屋上の学級菜園やプランターで様々な野菜や植物を育てます。児童とどんな野菜を育てたいか考えることで、より愛情をもって栽培

に取り組むことができました。今年度は、オクラやさつまいも、ジャガイモ、ブロッコリーなど二十種類ほど栽培しました。収穫した野菜は、家庭に持ち帰って調理して食べます。自分たちで作った野菜を食べたり、身近な人にふるまったりすることで、食への関心が高まり、苦手の野菜に挑戦することもできました。

「調理」では、おひさま農場で収穫した野菜を使って、じゃがいも餅やさつまいもケーキを作りました。異学年で構成されたグループに分かれてレシピを考え、必要な材料を買い物に行くなど、事前の準備から児童が考えて活動を進めます。実際の調理の場面では、上級生が下級生のリーダーとして活動すること、下級生は上級生を手本として、活動に見通しをもって「こんな上級生になりたい」と積極的に取り組んでいます。異学年の関わり合いを通して、どの児童も主体的に活動しました。

また、調理以外にも、収穫したさつまいもを使ってどんなことをしたいか児童と考えて、野菜スタンプをしたり、つるでリースを作ったりしました。

わかば学級の児童たちの「やってみたい、知りたい」というすてきな気持ちを大切に、日々の教育活動により一層力を注いでいきます。

(わかば学級担任 渡辺 真理)

音楽委員会

音楽委員会は、主に音楽朝会やふれあいコンサート運営を行っています。

音楽朝会では、毎月の歌に合わせて舞台上で歌います。良い歌い方を全校児童が意識できるように、そして全校児童の手下となれるように練習しています。

また、毎月行っているふれあいコンサートでは、オーブニングにリコーダーで演奏してコンサートを盛り上げています。

音楽朝会、ふれあいコンサートだけでなく、よりたくさんのお楽しみがあふれる港南小学校になるように、委員会としてできることを考えます。

(音楽委員会担当
柿島 沙織)



委員会紹介

代表委員会

代表委員会は、四年生から六年生の各学級の代表者二名からなる委員会です。主に運動会のスローガンを決めたり、六年生を送る会の計画・実施、学校をよりよくするためにどのような活動ができるかを話し合ったりしています。

今年度から新たに始めた活動として、四月に一年生の掃除を手伝いに行きました。

また、来年度に五十五周年を迎える港南小学校のために、五十五周年記念ソングの歌詞に入りたい言葉を各クラスに募集し、それをまとめるなどの活動を行いました。

これからも、より良い学校になるためにできることをたくさん提案できるように委員会活動していきます。

(代表委員会担当 坂口 千尋)

美化委員会

美化委員会では、主に、各教室の掃除ロッカーが綺麗に片付けられているか、靴が綺麗に靴箱にしまわれているかの確認を行っています。綺麗でなかった場合には、しっかりと整頓も行うようにしています。また、雨が降った次の晴れた日には、傘立てに傘が残っていないかを確認し、残っていた場合には担任の先生に届けるようにしています。曜日ごとにクラスと担当者を決め、それぞれが責任をもって活動しています。自分たちができる事は何かを考え、校内を綺麗に保つための啓発運動として、ポスターの作成にも取り組んでいます。今後も学校生活を過ごしやすいものとするため、自主的に活動できるように声を掛け、美化委員会の活動を充実させていきたいと思えます。

(美化委員会担当 小池 裕也)

ボランティア委員会

ボランティア委員会は、一、二学期に青少年赤十字社の取り組みに参加し、募金活動や廃品回収などを行いました。三学期には、ユニセフ活動を行っています。青少年赤十字社の取り組みに参加したのは今年度が初めてでしたが、子供たちは積極的に取り組むことができていました。今後も主体的にボランティア活動に取り組み、奉仕の精神を身に付けていってほしいと思っています。

ボランティア委員会の新たな目標として、さらに、ボランティア活動に取り組みつつ、港南小学校の子供たちがボランティアの大切さを感じられるように、努めていきたいと思えます。



(ボランティア委員会担当
高橋 佳大)

給食室より

本校では児童、教職員合わせて毎日約千四百食の給食を作っています。給食に携わっているのは調理員十四名と栄養士二名です。

給食は毎朝七時過ぎから作り始めています。食材の検収、水質検査、従事者の健康確認、給食室内や冷蔵設備の温度確認など、給食を作る前にたくさん確認をチェックして、確認後にはすべて記録しています。また、調理開始から作業中のすべての工程を記録しています。

本校では、一年生から六年生の算数で少人数での学習を行っています。各学年に算数少人数の担当三名が加わり、単元毎に算数のクラスを作りま

算数少人数より

す。例えば五年生では、五学級を八クラスに分けることとなります。

算数でのクラス分けは、単元の内容等により様々です。習熟度別や、単純少人数、めあてや課題別などがあります。単元が始まる前に、単元の内容がどれだけ理解できているのかを

ます。安全でおいしい給食を子供たちに提供するために日々努力しております。

教室を巡視すると、「今日の給食おいしいよ」と声をかけてくれる児童もあり、給食に携わる者としてとても励みになります。また、給食時間を楽しく過ごしているようで、とてもうれしく思います。

これからも子供たちが健やかに大きく成長できるように給食を作っています。

(栄養士 佐藤 美知)

把握する「レディネステスト」や、日々の生活や学習での課題等を踏まえて、一人一人に適していると思われるクラスに分けていきます。

習熟度別クラスでは、視覚的に分かりやすい資料を使ったり、難問に挑戦させたりと、理解度に合わせた授業を工夫しています。これからも一人一人の課題に合った算数の学習を進めていきます。

(算数少人数担当講師
木内 ゆり、高橋 美里)